

|      |       |      |        |
|------|-------|------|--------|
| 十九番  | 宮沢良一君 | 二十番  | 指田保雄君  |
| 二十一番 | 末次性男君 | 二十二番 |        |
| 二十三番 | 関米吉君  | 二十四番 | 塩野鉄之助君 |

一 欠席議員は次のとおりである。

二十二番 小堺仁七君

一 欠員は次のとおりである。

なし

一 議会议務局職員は次のとおりである。

|        |      |      |       |           |        |
|--------|------|------|-------|-----------|--------|
| 議会議務局長 | 木村進君 | 議事係長 | 市川昭利君 | 臨時速記事務補佐員 | 川久保友子君 |
|--------|------|------|-------|-----------|--------|

一 出席説明員は次のとおりである。

|          |       |             |       |
|----------|-------|-------------|-------|
| 市長       | 田村巨雄君 | 助役          | 古谷徳男君 |
| 収入役      | 高水求君  | 教育長         | 森田猛君  |
| 企画財政部長   | 生子国利君 | 総務部長        | 浅見裕康君 |
| 市民部長     | 井上久男君 | 福祉部長        | 田村忠雄君 |
| 建設部長     | 内田和雄君 | 教育次長        | 八木房雄君 |
| 監査委員事務局長 | 森田武君  | 選挙管理委員会事務局長 | 篠崎寛君  |

一 本日の議事日程は次のとおりである。

昭和五十六年第二回福生市議会定例会議事日程（第二日目）

開議日時 六月十二日（金）午前十時

日程第一 一般質問

日程第二 議案第三十九号 福生市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

日程第三 議案第四十号 福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

日程第四 議案第四十一号 福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

日程第五 議案第四十二号 福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

日程第六 議案第四十三号 福生市消防団条例の一部を改正する条例

日程第七 議案第四十四号 福生市地域会館条例の一部を改正する条例

日程第八 議案第四十五号 福生市児童遊園条例の一部を改正する条例

日程第九 議案第四十六号 東京都市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約

日程第十 議案第四十七号 昭和五十六年度福生市一般会計補正予算（第二号）

日程第十一 議案第四十八号 昭和五十六年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

日程第十二 議案第四十九号 昭和五十六年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理事業会計補正予算（第一号）

日程第十三 議案第五十号 福生市表彰条例に基づく自治功労者について

日程第十四 議案第五十一号 福生市表彰条例に基づく自治功労者について

日程第十五 議案第五十二号 福生市表彰条例に基づく自治功労者について

日程第十六 議案第五十三号 福生市表彰条例に基づく自治功労者について

日程第十七 議案第五十四号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について

日程第十八 議案第五十五号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について

日程第十九 議案第五十六号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について

- 日程第二十 議案第五十七号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十一 議案第五十八号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十二 議案第五十九号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十三 議案第六十号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十四 議案第六十一号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十五 議案第六十二号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十六 議案第六十三号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十七 議案第六十四号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十八 議案第六十五号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第二十九 議案第六十六号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第三十 議案第六十七号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第三十一 議案第六十八号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第三十二 議案第六十九号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第三十三 議案第七十号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第三十四 議案第七十一号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について

- 日程第三十五 議案第七十二号 福生市表彰条例に基づく一般表彰について
- 日程第三十六 陳情第二号 町会等の会館建設費等の補助金増額に関する陳情書
- 日程第三十七 請願第二号 米軍横田基地の立入調査要求に関する請願書
- 日程第三十八 請願第三号 「核」の疑惑と不安に対して横田基地への市民による「立入調査」での真相究明に関する請願書
- 日程第三十九 請願第四号 非核三原則を堅持し在日米軍横田基地に対する国と関係自治体による立入調査に関する請願書



議長(末次性男君)　ただいま委員長から報告されたとおり、本日の議事を進めますので、よろしくお願いをいたします。

議長（末次性男君）  
この際、発言訂正の申し出がありましたので、これを許します。

○市民部長(井上久男君)  
昨日、一般質問における貫井議員よりに対する私

の答弁中、〔耕地面積五十九ヘクタールと御答弁申し上げましたところ、私の誤りで、まことに恐縮でございますけれども、耕地面積五十二・三二ヘクタールと訂正したいと思っておりますので、よろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。まことに申しわけでございます。

○議長(末次性男君)  
ただいま発言のとおり訂正することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(末次性男君) 御異議なしと認めます。 ようて、  
ただいま発言のとおり訂正することに決定いたしました。

○議長(末次性男君)  
これより日程に入ります。

日程第一、きのうに引き続き一般質問を行います。二十番指田保雄君。

(二十番 指田保雄君登壇)

○二十番(指田保雄君) 通告順に従いまして一般質問を行います。

まず第一点、婦人問題についてであります。御案内のように、昭和四十七年、国連総会は満場一致で昭和五十年を国際婦人年とすることを決議いたしました。また、昭和五十年には、第三十回総会において、昭和五十一年より六十年までの十年を国連婦人の十年として宣言し、国際婦人年世界会議で採択された男女平等のための行動計画を承認するとともに、各国政府に、行動計画の中での勧告を取急問題として検討することを要請いたしております。

これを受けて日本政府は、昭和五十二年、閣議に了承を得て、男女平等を  
実現するための婦人に関する総合的の施策と推進を図る国内行動計画  
を策定し発表いたしました。

また、東京都も五十三年十一月、東京都市行動計画を発表してあります。その後、各年度ごとに実施細目を発表し、それに基づき、区市町村に対する補助金交付も行っております。区市町村としては、新宿区が本年二月、行動計

画を發表いたしております。

翻つて、わが福生市として、この問題についてどのように認識されておられるのか。また、行動計画を策定し、市民、職員に対し周知徹底するべきであるとは思いますが、その考えがあるかどうか御答弁をいただきたいと思います。

次に、電算機、いわゆるコンピュータの効率的利用について伺います。福生市におきまして、各自自治体同様、税務の課税事務からコンピュータの利用を四三年ごろから実施したと聞いております。その後、コンピュータの開発が進み、現在では税務はもとより、国保、年金、住民情報等、コンピュータ利用は進捗いたしましたわけでありすが、当然、委託料も増加しており、昭和五十六年当初予算に計上された委託料は、税務関係で一千五百七十九万一千円、住民情報で五百五十九万六千円、選挙関係九十三万五千円、職員給与三百十二万九千円、国保、年金が四百六十八万九千円となっております。都合、三千十万円となっております。今後ともコンピュータの利用は拡充されてくると思われすが、委託料もふえることはあつても、減ることはないと思われすが、また、言いかえるならば電算機を上手に利用することによって、行政事務の省力化、行政事務の

効果の増大等が得られるということがあります。特に昨今では、平易に利用できるようオフィス・コンピュータとかが開発されていると聞いております。

理事者として、行財政の効率的運用を図る上で、今後のコンピュータの利用について、どのように考えられておられるのか御答弁をいただきたいと思います。

最後に、行政機構について伺います。

当市も、部長制を廃止してからはや四年目を迎えました。その良い点、悪い点、そろそろ出そろつたと思われすが、いかにしたら住民に対して最大の行政のサービスができるのか、この辺で再検討すべきであると私は考えますが、当局はどのように考えられておられるのか、答弁をいただきたいと思います。登壇による質問を終ります。

（市長 田村匡雄君登壇）

○市長（田村匡雄君） 指田議員さんの御質問にお答えいたします。

婦人行動計画の策定でございますが、御質問の婦人行動計画の件につきましては、国連総会における昭和五十年国連国際婦人年決議を契機として、メキシコにおいて婦人問題を具体的に解決するため世界行動計画が採

決され、これを受けて東京都においても、昭和五十三年十月、東京都行動計画を発表して以来、その計画に基づき毎年、各関係機関にその協力を要請してありますことは、御指摘のとおりでございます。その計画の趣旨は、憲法でも保証されておりますところの個人の尊厳と男女平等の立場からもうひとつのことでございますが、今日の現状は、いまだに女性というだけで、まだまだ男女間にさまざまな形で不平等があることも事実でございます。一口に婦人問題と言われなくても、職場における賃金の問題から家庭生活の問題に至るまで、あらゆる面に問題を有しているのではないかと思います。

このような状況の中にあつて、当福生市にいたしまして、これらの問題について、教育を始め各担当部において部分的なそれぞれ対応施策を進めておりますが、市の統一的な施策の実現には至っておりません。しかしながら、その趣旨の重要性にかんがみ、行政の許可範囲において、婦人の地位の向上に向け、あらゆる面で意識向上等に努力してまいりたいと考えております。

細部につきましては、部長から補足答弁いたさせます。

電算事務についてでございます。

御指摘の電算化につきましては、従来よりその組織の内容により、いままで人の力で計算していたものを電算化することにより事務の効率化に努めてまいりました。今日のコンピュータとか計算機と言われるこの種の物は、その用途によって非常に種類も多く、それぞれの特徴を有しております。また、それらの取り扱う業者もいろいろな形態を有してある状態でございます。このような中において、電算事務の委託をどのようにしたらよいが、どの機種にしたらよいかを、なかなか決める状態でございます。現在、御指摘のように、税務課の税務事務を初め、国保、年金、上下水道、幅広い分野に電算事務を委託しております。その中に、職務の都合上、どうしても現在の方法でなくではぐあいが悪いと言われるものもあります。現在、委託している範囲内で、その内容に検討を加え、改善できるものから実施して、さらに事務能力の向上に努めるのたいと思っております。

この件についても部長から補足説明をいたさせます。

行政機構についてでございます。

御質問の福生市の組織については、昭和五十三年、当時の状況に踏まえ、一定の

見通しの上に立ち、種々検討を加え、地域に最もふさわしい組織として編成がえをされたものでございますが、その後、御指摘のようにすでに三年の歳月が経過しております。地域の変遷と市民要望の変貌等によりまして、そろそろ見直す時期が来ているものではないかと考えております。この四月に、助役を委員長に、職員十九名からなる組織検討委員会を組織し、現在検討を進めておるところでございます。

私といたしましても、できるだけ早く検討結果をまとめたいただき、その結果を踏まえ、組織がえを考えておるところでございます。

答弁とさせていただきます。

○企画財政部長(生子国利君) 御指名でございますので、一応市長の補足として申し上げたいと思います。

婦人行動計画策定につきましては、指田議員さんの御研究、あるいはいままでの点から敬服する次第でございますけれども、あれわれとも、多少認識が不足だったことについておわび申し上げますが、この件につきまして、もうすでに五年を経過しておる現状でございます。それで、福生市としては、これらにつ

まして検討を、私もいたしましたんですが、いずれにしても、策定という問題につきましては、なかなか現時点ではむずかしいと思いますが、市としての考え方としては、やはり基本構想というものを基本に、実施計画に基づいて婦人問題解決についての理念を認識いたしまして、各担当職員もこれに考え方を新たにしまして、これらを進めながら計画をするというふうに今後とも努力していきたい、こういうふうに考えております。

それから次の電算問題でございますが、確かに御指摘のとおり、これは非常に電算そのものと一口に言いますけれども、なかなかコンピューターそのもののよほどの技術を持たないと、担当職員等が即でできるものではございません。したがって、確かに行政事務の実現化などが、住民サービスの向上、事務の効率化、こういうものを考えますと、いま現在コンピューターを委託しておりますけれども、これからの電算というものにつきましては、それ以上の高度の、要するに行政が必要に迫ると思っています。これからの電算化につきましては、やはり単独の市で実施するということとは非常にむずかしいというふうに考えています。しかし、これが、じゃあ何市か集まってやういふもののコンピューターセンターをつくってやるということにつきましては、

部あたりでもそう、う意図はございましてんですが、なかなかそういうふうな形態に持ち込むという事はむずかしいわけでございますが、市側としては、いま現在行っている電算機委託の内容からしてみても、今後さらにそれを活用して今後の、要するに行政をどういうふうに持つていくかというものの必要性に迫られる統計が必要じゃないかと思えます。今後コンピューターの利用というものにつきましては、考えなくてはいけませんので、市としては現況を維持しながら、さらにもう一歩進んだ研究に進みたいというふうに考えられておるわけですが、いずれにしても、御指摘のとおり能率化というものを考えますと絶対的に必要だと思えます。十分また研究もさせていきたいと思います。

○二番(指田保雄君) 御答弁をいただいたわけでございますが、第一点の婦人問題でございますが、策定はむずかしいと。実施計画の中等に盛り込んでいくというふうなお答えを伺いましたが、この婦人問題というのは、人類の半分が婦人でございまして、福生市も婦人の方が人口的には数が多いようでございますし、国連の婦人の十年というところで、六十年でおしまい、こゝで十年やたらおしまいなんだと、その後はいよいよいんどというふうな認識の仕方では、私はずいんどと思

うんです。やはり福生市として、五年おくれなんなら、じゃあその五年は延長しよう、さらにその五年延長した時点でこれだけ成果が出たんだと、じゃあさらにそれを進めていこうと、そういう基本的な問題に対する取り組みがあるならば、時期がおくれたから策定はまあいいやと、六十年になればもうおしまいだというのではなくて、やはり真剣に取り組んでいきたいと思います。私は思うわけです。この点、もう一回御答弁を伺いたいと思います。

それから、コンピューターの件でございますが、確かにコンピューターというのは省力化が大きな魅力でございます。しかし、省力化だけがコンピューターの使い方ではございません。これはもう市長もよく御認識していただいていると思います。やはり将来の方向として、行政の質の向上、また施策の企画、立案、制作、こういったことがコンピューターを使いこなせば本当に早い時間、いろいろなタイプを計算できる、予測できる。やはり省力化だけが大きな目的であるというふうな考え方でいなければ、やはりこれからは行政のおくれというものが出てくるんじゃないかと思えます。価値観の多様化、いろいろな価値観があります。その中でやはりそういう膨大なものの資料を検討していくためには、コンピューターの導入ということも大きな焦点では

ないかと思つておられます。

最後に、助役さんをお委員長として組織検討委員会をつくらせているというところで、非常に私も安心したわけですが、どのくらいお会合をやり、助役さんが何回出席し、積極的にその会議を主唱したのか、黙つて聞いていたのか。その辺のところももう少し詳しくお願い申し上げます。

○企画財政部長(生子国利君)　ただいま最初の行動計画の問題でございますが、確かに六十年で期限が切れますけれども、市側としては、現在も東京都の作成しております行動計画等の関連もございまして、いざれにしても、これは婦人問題でございまして、それらにつきましては母子問題、それからあとほかいろいろ一般的な婦人に関する問題がございまして、これはただ単に六十年でおいまいというだけではなくて、いわゆる実施計画基本構想等の中から含めると、これは永久的なものだと思ひます。しかし、どこでそれがピシッと決められるかという問題ではありませぬけれども、それからの婦人問題につきましては、社会教育もございまして、医療行政もございまして、そういうものをすべてを含めて六十年で切るという考え方は毛頭ありません。したがって継続して進めろというふうに考えます。

それから次のコンピュータの問題でございますが、確かに御指摘のとおり、これからの利用につきましては、現況以上の利用度を高めた方がいいと思ふんですが、私たちが、いまの現時点におうましては、経済面を考えると、やはり委託がでるものは委託によつて進めろと。しかし、その中で、やはり今後でるものは考えたいと。それと同時に、前進的に統計等をとつて、将来のいわゆる財政、行政、そういうものを、費用というものを把握することが必要ではないかというところにつきましては、さらに内部的にも検討いたしまして、よりコンピュータの利用を研究して、いかにいかにうまく考えております。

○助役(古谷徳男君)　自席から、第三番目の行政機構についての御答弁を申し上げます。

いま、市長の方から申し上げましたように、新年度からこの組織を検討するということですが、私が委員長になりましたら、会議をもつております。現在までに四回行つておりますけれども、委員の方々には各部課から代表の方を出していただまして、それぞれ問題点を提起していただまして、私、全部の会議に出ておりますが、いろいろ御意見がいま出ておりまして、問題点を逐次検討中でございます。